

大切なものがあるから

Ke Device

UMS Client | 取扱説明書

2020.9.9 1.1 版

EHVR-804C 遠隔接続ソフト UMS Client 取扱説明書



お客様へ

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 ケービデバイス

1章 遠隔監視

付属のクライアントソフトを使用することで、本機のライブ映像や録画映像を PC から閲覧できます。

注意：帯域幅が大きい場合は、1台の本機に同時に接続できる PC の台数は 4 台までです。
帯域幅が小さい場合は、1台の本機に接続する PC の台数は 1 台にすることを推奨します。

注意：ルータを通じてインターネットに接続している場合、ルータからのポートの開放(Port Forwarding)が必要です。

本機のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、UMS クライアントからのバックアップ機能を使用したい場合は、基本ポート+1 のポートをオープンしてください。

尚、UMS クライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、基本ポート+10 のポートと、Web ポートをオープンにしてください。

設定例)

本機のネットワークメニューに入力したポート番号が 5445 の場合、ルータから 5445/5446/5455 の 3 つのポート、および Web ポートの 80 をオープンして使用します。

【 クライアント PC の推奨スペック 】

動作確認済み OS : Windows 8 / 8.1 / 10

CPU : Intel Core i5 2GHz 以上

メモリー : 4GB 以上

VGA メモリー : 512MB 以上

解像度 : 1920 x 1080

ストレージ空き容量 : 1GB 以上

ネットワーク : 100BASE-T 以上

グラフィックカード : DirectX 10 以上

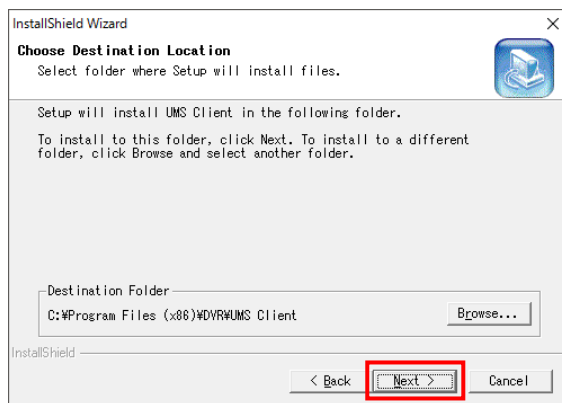
1.1 クライアントソフトのインストール

同梱の CD-ROM には、本機 1 台の遠隔監視を行うソフト「UMS Client」および、数台の遠隔監視を行うソフト「UMSM Client」がパッケージされています。

【 インストール手順 】

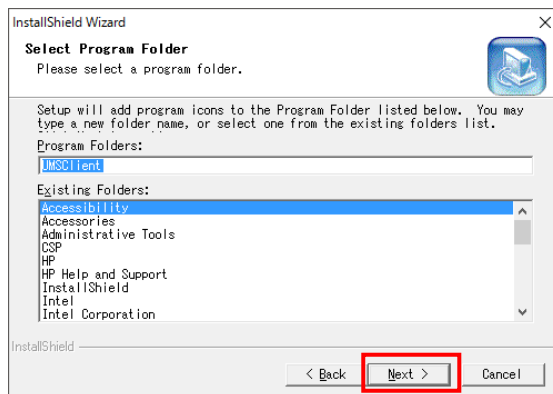
以下の手順で、クライアントソフトをインストールできます。

1. 付属の CD-ROM を OC にセットして、「UMSClient_3.*.*_yymmdd.exe」をダブルクリックすると、インストーラが起動します。
2. 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダを確認して「Next」をクリックします。




インストール先のフォルダを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダを選択してください。

3. 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダを確認し、「Next」をクリックします。プログラムフォルダを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。



4. インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。


5. インストール完了後、保存先に「UMS Client」のショートカットアイコン  が表示されます。

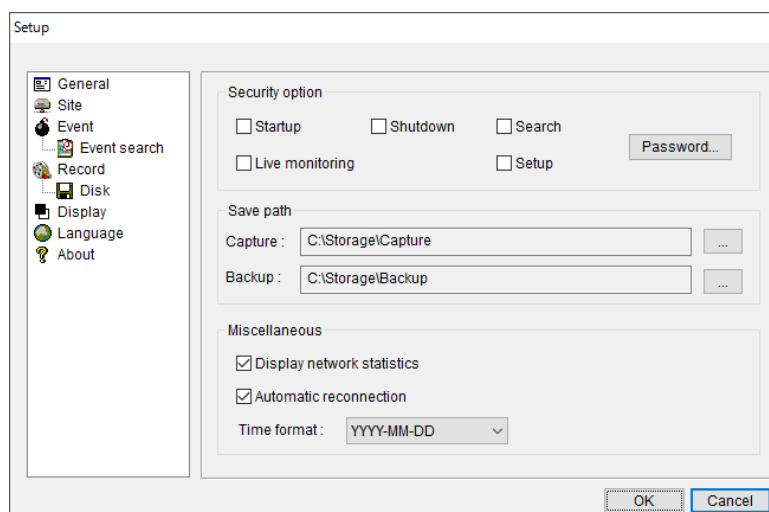
アイコンをダブルクリックすると、クライアントソフトが起動します。



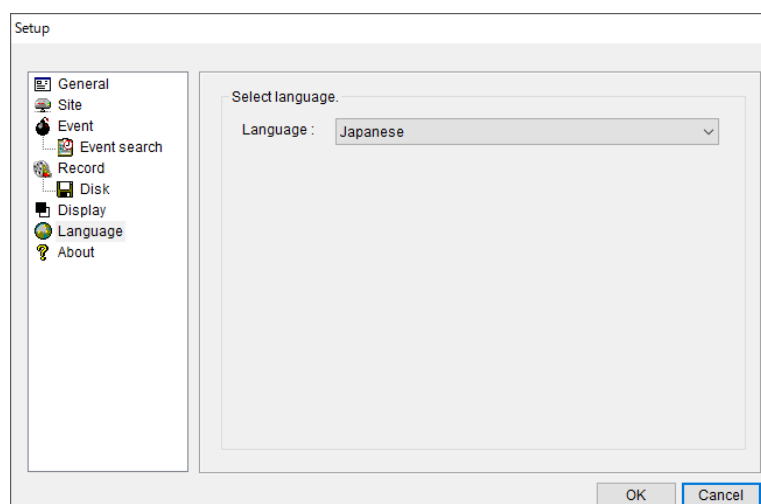
1.2 言語設定の変更

UMS クライアントの初回起動時、言語設定は英語表記になっています。
以下の手順で、言語設定の変更ができます。

1. UMS クライアントの画面右下より、「セットアップ」アイコン  をクリックします。
設定画面が表示されます。



2. 画面左側の「Language」をクリックし、言語を「Japanese」に設定します。
設定後は、「OK」をクリックします。



3. 設定を反映するためには、ソフトを再起動する必要があります。
次回起動から、言語が日本語に適用されます。

4. 本機(EHVR-804C)のネットワーク設定を入力します。
設定値の入力後、「OK」をクリックします。



接続先追加

モデル : N Series DVR, HD DVR

接続先名 : EHVR-804A

接続先アドレス : 192.168.1.10

ポート番号 : 5445

ID : ADMIN

パスワード : ●●●●

チャンネル

チャンネル : 4 CH

DVR側のch名を読み込んで表示

Ch番号	名
1	CH-1
2	CH-2
3	CH-3
4	CH-4


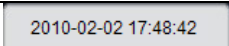


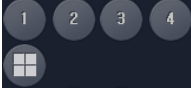








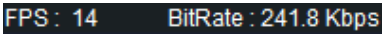
OK キャンセル


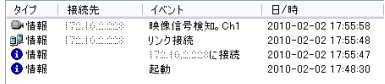
- モデル : 「N Series DVR, HD DVR」を選択します。
- 接続先名 : 任意の名前を入力します。
- 接続先アドレス : 本機の IP アドレスを入力します。
※DDNS 設定を行っている場合は、DVR に設定したホストドメインネームを入力します。
- ポート番号 : 本機に設定したポート番号を入力します。
※初期値は、「5445」です。
- ID : 本機に設定したユーザー名を入力します。
- パスワード : 本機に設定したユーザーに対応するパスワードを入力します。
- チャンネル : 「4CH」を選択します。

5. UMS クライアントの起動画面より、 をクリックして、作成した接続先を選択するとライブ画面が表示されます。

1.4 ライブ画面での操作

ライブ画面の項目

表示	名前	説明
	画面表示部	映像を表示します。 デジタルズーム時は左下に全体画面が表示されます。
	日時情報	現在の日時を表示します。
	接続/切断	通信を接続/切断します。
	検索	ライブモードと検索モードとを切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、分割画面で表示するかを切り換えます。
	PTZ コントロール パネル	PTZ カメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを 調節します。 中央の「PT」をクリックするとPTZコントロールモード に切り換わります。
	キャプチャー	ライブ画面のスナップショットを保存します。 クリックするとウィンドウが表示され、ファイル形式を 選択します。 初期設定では保存先が「C:¥Storage¥Capture」と なっています。
	再生/停止	ライブ映像を再生/一時停止させます。
	録画 ON	ライブ映像を PC の HDD に保存します。
	プリセット	PTZ カメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	本機側にアラームを発生させます。
	セットアップ	セットアップ画面を表示します。
	HDD 容量	本機の HDD の使用容量を表示します。
	ネットワーク 状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。

表示	名前	説明
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックすると音声出力を入/切にします。
	ログウインドウ	操作履歴を表示します。

【 UMS クライアントのデジタルズーム機能 】

本機と同様に、UMS クライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

UMS クライアントの画面表示部にカーソルをおくと、画面表示部の左下に全体画面が表示されます。

マウスのホイールのスクロール操作により、画面表示部に表示される画像がズームアップ/アウトします。

全体画面の赤い枠は、画面表示部に現在表示されている領域を示します。

画面をドラッグ&ドロップすることで、ズーム表示の位置を移動させることができます。



※再生画面も同様にズーム動作を行えます。

【 双方向オーディオ 】


UMS クライアント側と本機側の双方向オーディオ通信ができます。

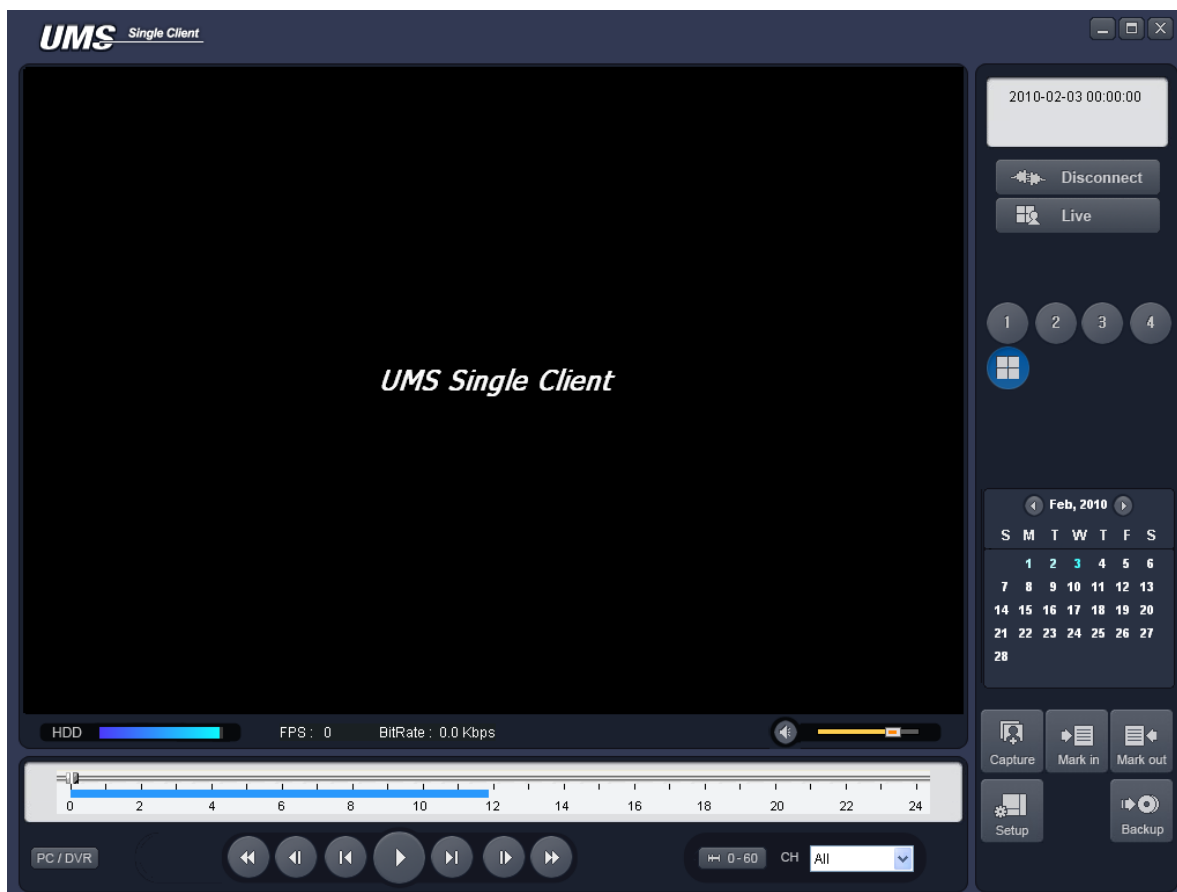
PC(UMS クライアント)側 : マイクやスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。

本機側 : マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

1.5 検索画面での操作

本機に記録した録画映像を PC 上で再生することができます。

ライブ画面上で、 Search をクリックすると、「録画検索」画面に切替ります。




検索画面の項目

表示	名前	説明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	検索モードとライブモードとを切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを 1 画面で表示するか、分割画面で表示するかを切り換えます。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色で表示されます。
	キャプチャー	ライブ画面のスナップショットを保存します。 クリックするとウィンドウが表示され、ファイル形式を選択します。 初期設定では保存先が「C:¥Storage¥Capture」となっています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	録画映像を AVI 形式でバックアップします。
	タイムラインバー	スライドノブをドラック&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。 データのある区間は水色で表示されます。
	PC/DVR	再生する映像の読み元を、PC または本機 (DVR) を切り換えます。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1 フレーム送り/ 戻し	一時停止時にクリックすると、1 フレーム送り/戻しを行います。
	1 分送り/戻し	クリックすると 1 分先/前の映像にスキップします。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	表示単位切換え	タイムラインの 24 時間/60 分表示を切り換えます。

1.6 動画のバックアップ


本機または PC に保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。


PC / DVR で再生する映像の読込元を PC または本機 (DVR) を切替えます。

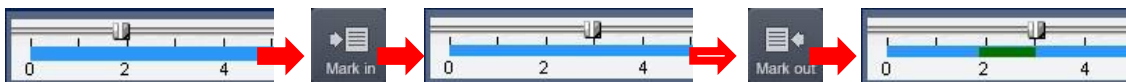
PC のデータを再生 : UMS クライアントでライブ画面の監視中に、 をクリックして PC の HDD に保存しておいたデータを再生できます。


本機のデータを再生 : 本機の録画設定により、本機の HDD に保存されている録画データをネットワークを通じて再生できます。

タイムラインのスライドノブをドラック&ドロップしてバックアップしたいデータの先頭時刻に位置させ、

 をクリックすると、選択時点がバックアップの開始点として指定されます。

スライドノブを再度ドラック&ドロップして開始点より後の時刻に位置させ、 をクリックすると、選択時点がバックアップの終了点として指定され、開始点と終了点の間の区間が緑色に変わります。



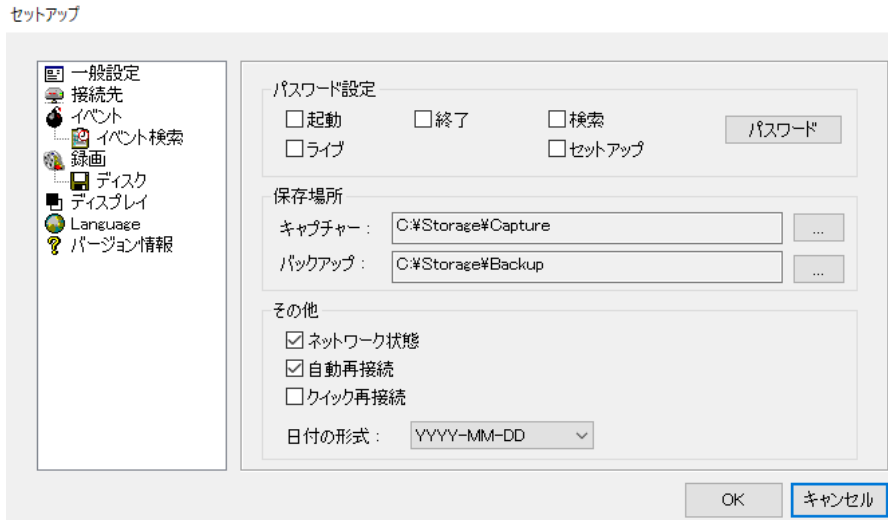
バックアップする区間が緑色で指定された状態で、 をクリックすると、バックアップのダイアログ画面が表示されます。

1.7 セットアップ画面

セットアップアイコン  をクリックし、UMS クライアントの設定を変更・確認ができます。

1.7.1 一般設定

セットアップ



一般設定
接続先
イベント
イベント検索
録画
ディスク
ディスプレイ
Language
バージョン情報

パスワード設定
 起動 終了 検索 ライブ セットアップ

保存場所
キャプチャー： C:\Storage\Capture
バックアップ： C:\Storage\Backup

その他
 ネットワーク状態
 自動再接続
 クイック再接続
日付の形式： YYYY-MM-DD

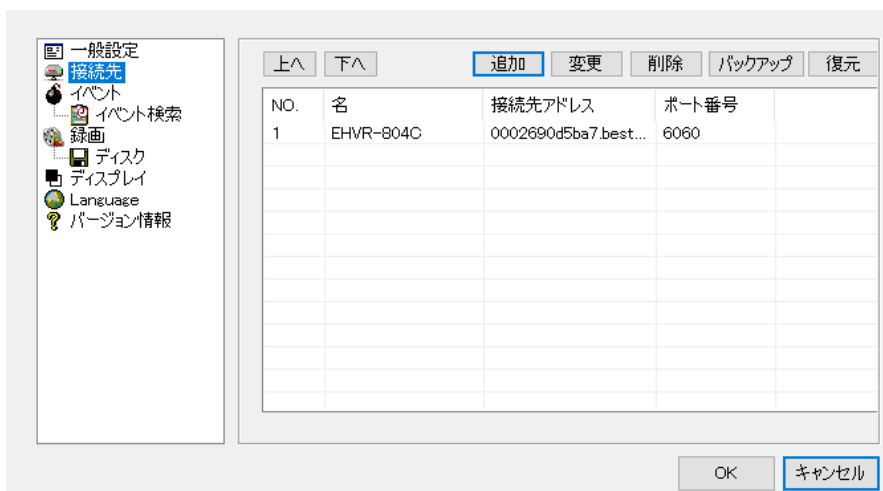
OK

一般設定の項目

項目	説明
パスワード設定	各操作項目にチェックを入れると、操作を行うときにパスワードの入力が不要になります。 「パスワード」をクリックすると、パスワードの変更ができます。
保存場所	キャプチャーした静止画か、バックアップした動画のファイルを保存するフォルダを指定します。
ネットワーク状態	ライブモードで、FPS やビットレートなどのネットワークのステータスを表示します。
自動再接続	何らかの原因でネットワークが切断した時、自動的に再接続を行います。
クイック再接続	チェックを入れると、クライアントソフトを起動した際に、最後にアクセスしていたレコーダーに自動的にアクセスします。
日付の形式	日付の表示形式を選択します。

1.7.2 接続先

セットアップ

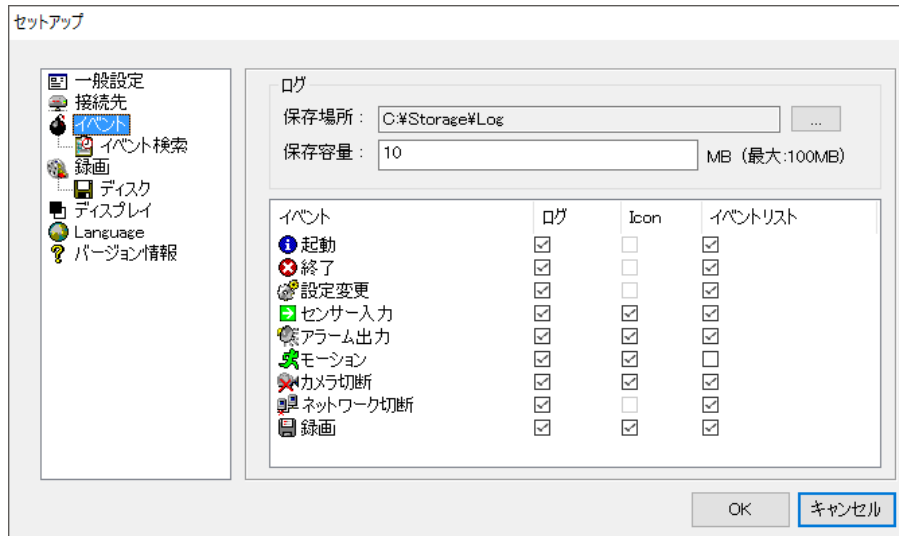


接続する本機の Site 名、IP アドレス、ポート番号、パスワードを登録し、UMS クライアントから接続することができます。

登録先の登録数には制限はなく、すでに登録されている接続先の情報を更新・削除することもできます。

- 追加
新しい接続先情報を登録します。
登録手順については、「7.3 接続方法 (7-5 ページ)」をご覧ください。
- 変更
登録済みの接続先情報を変更します。
- 削除
選択した登録情報を削除します。
- バックアップ
登録済みの接続先情報をエクスポートします。
ボタンをクリックし、データの保存先とデータ名を指定してください。
エクスポートしたデータは、「任意の名称.Dat」となります。
- 復元
バックアップにてエクスポートした登録情報を読み込みます。
新規 PC への登録情報の反映が容易になります。

1.7.3 イベント



イベントの項目

項目	説明
ログ	UMS クライアントでイベントが発生したログのリストを保存するフォルダと制限容量を設定します。
イベント設定	<p>各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログ : イベント発生時にログを記録します。 • Icon : イベント発生時にアイコンを表示します。 • イベントリスト : イベント発生時にライブ画面下にログウインドウに表示します。

1.7.4 イベント検索

セットアップ

一般設定
接続先
イベント
イベント検索
録画
ディスク
ディスプレイ
Language
バージョン情報

From: 先頭 2016-05-23 0:00:00

To: 最終 2016-05-23 15:56:50

保存場所: C:\Storage\Log

タイプ	接続先	イベント	日/時
-----	-----	------	-----

検索 参照

保存

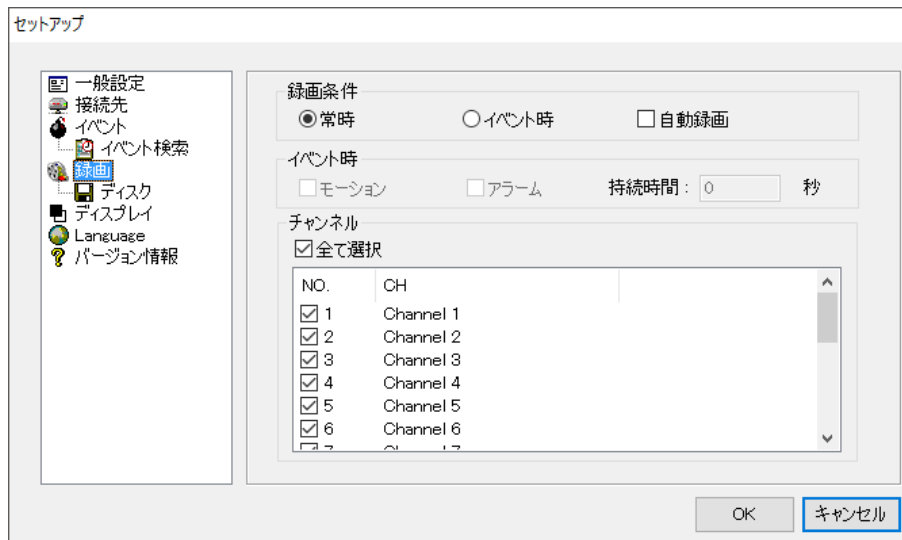
OK キャンセル

イベント発生記録を検索したい日時範囲を指定し、「検索」をクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。

保存記録の最初から検索したい場合は、「先頭」にチェックを入れます。

保存記録の最後まで検索したい場合は、「最終」にチェックを入れます。

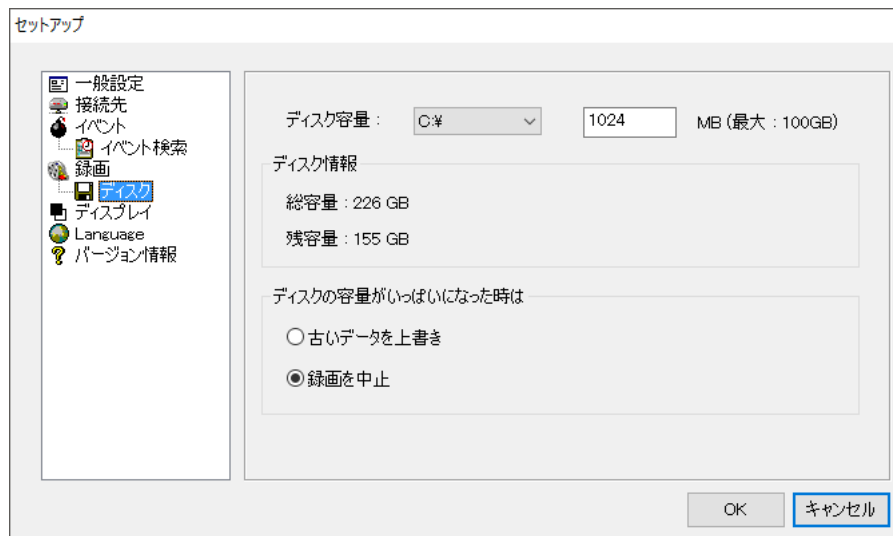
1.7.5 録画



録画の項目

項目	説明
録画条件	<p>ライブ画面で録画を行う条件を設定します。</p> <p>モードによって録画を行うタイミングが異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 常時 : 常に録画を行います。 イベント時 : イベント発生時に録画を行います。 自動録画 : 選択した録画条件で起動後、自動的に録画を行います。 <p>※本機の録画設定が「スケジュール」の場合は、設定できません。</p>
イベント時	<p>録画条件で「イベント時」を選択時に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> モーション : 動きを検知すると録画を行います。 アラーム : アラーム入力時に録画を行います。 持続時間 : イベント発生時に何分間録画を行うかを設定します。 <p>※録画条件は、本機で設定した録画モードと同じにします。</p>

1.7.6 ディスク



ディスクの項目

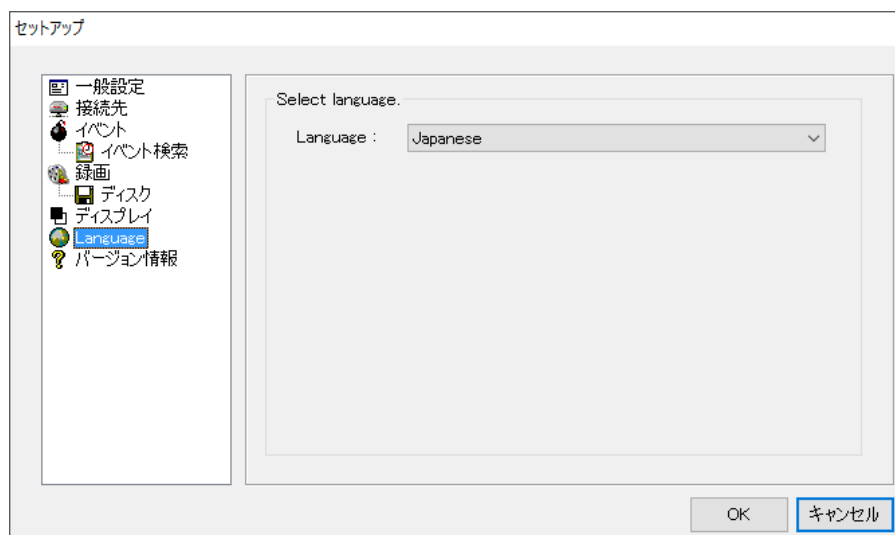
項目	説明
ディスク容量	保存先のハードディスクと使用するハードディスク容量を設定します。
ディスク情報	選択したハードディスクのその容量と残容量を表示します。
ディスクの容量がいっぱいになった時は	<ul style="list-style-type: none">古いデータを上書き：一番古いデータから上書き録画します。録画を中止：録画を停止します。

1.7.7 ディスプレイ



- OSD - レゾリューション
ライブ画面上で各 CH の解像度表記の ON/OFF を切替えます。
チェックを入れると各 CH 上に解像度を表示します。
- Display - 第 2 モニター映像補正
複数のモニターを使用する PC で、第 2 モニターの UMS 映像に乱れが発生する場合に、
チェックを入れると、モニターへの出力補正を行います。

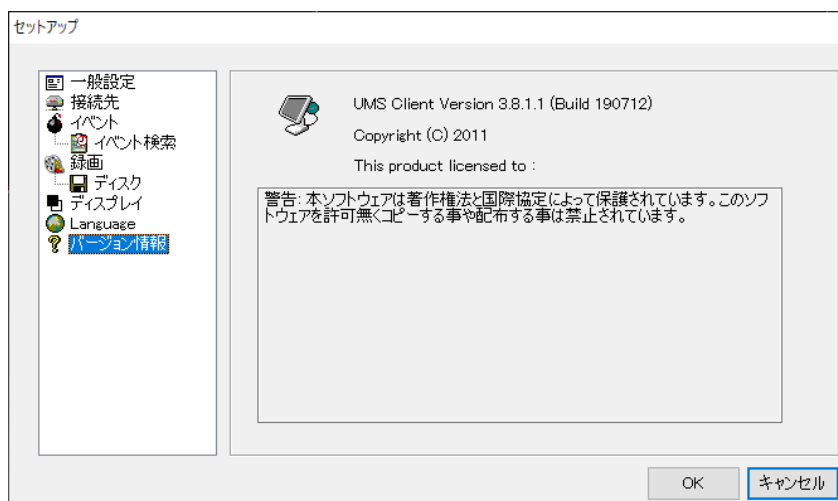
1.7.8 Language



UMS クライアントの表示言語を設定します。

変更手順については、「7.2 [言語設定の変更](#) (7-4 ページ)」をご覧ください。

1.7.9 バージョン情報



UMS クライアントソフトのバージョンを確認できます。

1.8 ポップアップメニュー

UMS クライアント画面の上にカーソルをおいて右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

【 接続・切断 】

接続先に接続するか、接続を切断します。

【 Hight Quality 】

選択したチャンネルの解像度と画質を最高設定へ変更します。

【 Normal Quality 】

選択したチャンネルの解像度と画質を標準設定へ変更します。

【 iフレームのみ伝送 】

選択したチャンネルの表示をiフレームのみ表示へ変更します。

【 マイク ON 】

PCに接続されているマイクを利用し、本機が設置されている現場に音声を送ることができます。

【 フルスクリーン 】

UMS クライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。
フルスクリーン表示を解除する時は PC の「ESC」キーを押します。

【 AspectRation 】

1 画面表示にした際のアスペクト比を変更します。

【 プリント 】

選択したチャンネルの映像をプリントします。

【 セットアップ 】

UMS クライアントの設定を行います。

【 遠隔設定 】

接続中の DVR 本体の設定を遠隔で変更できます。
詳細は本機の取扱説明書をご覧ください。

【 ロック 】

クリックすると、パスワード入力のダイアログが表示されます。

パスワードを入力すると、画面表示部の右クリック以外は操作できなくなります。

ロックの解除は同じ手順で行います。

【 終了 】

UMS クライアントを終了します。

1.9 遠隔設定

接続中の本機の設定を遠隔で設定できます。

ポップアップメニューから「遠隔設定」をクリックすると、「SET UP」画面が表示されます。

The screenshot shows a web browser window titled "WEB SETUP" with the URL "192.168.1.10/cgi-bin/websetup.cgi". The page has a dark theme and a navigation menu with tabs: DISPLAY, RECORD, DEVICE, STORAGE, SYSTEM, SECURITY, NETWORK, and UPGRADE. The "INFORMATION" tab is selected. Below the tabs, there are several sections of settings:

- OSD**
 - CHANNEL NAME: ON OFF
 - VIDEO LOSS: ON OFF
 - STATUS BAR / ICON: ON OFF
 - CAMERA TYPE: ON OFF
 - RECORD MODE: ON OFF
- OSD CONTRAST**: 100 (dropdown)
- SEQUENCE**
 - SEQUENCE-DWELL TIME: 3 SECOND(S) (dropdown)
- CHANNEL**
 - NAME: CH1 (dropdown)
 - COVERT: OFF (dropdown)
 - BRIGHTNESS: 50 (dropdown)
 - CONTRAST: 50 (dropdown)
 - HUE: 50 (dropdown)
 - SATURATION: 55 (dropdown)
 - MAIN OUTPUT RESOLUTION: 1920 x 1080 (dropdown)

At the bottom right, there are two buttons: "RELOAD" and "APPLY".

設定を変更し、「APPLY」をクリックすると、変更した設定内容が本機に反映されます。

各設定項目の詳細設定については、本機の取扱説明書をご覧ください。

※表記はすべてアルファベットです。